

特集

健康づくり戦略を磨く 誰も置いてきぼりにしない

【インタビュー】人から人へ健康づくりの連鎖を起こす意義

これからの健康づくり戦略に求められることは 大島一博

ポピュレーションアプローチの誤解 北出順子

健康づくり無関心層へ手が届く住民活動を推進するために

塚尾晶子

人生100年時代に向けた健康づくりの「伝道師」の育成

カーブスの取り組み 増本 岳

企業と行政とのタッグにおける成果と課題

大塚製薬の取り組み 清水精一

地域環境へのアプローチで安心して豊かな生活を送れる

「健幸」のまちへ 新潟県見附市の取り組み 久住時男

「せんぼく元気はつらつ隊」で人から人へ

秋田県仙北市の取り組み 佐藤義一、藤田麻子

PHOTO

地域のやりたい声から始める地域づくり

第2 育秀苑 地域包括支援センターの取り組み 若子寛子

新連載

「おも★けん!」 新任期でもできる! おもしろ健康教育のつくり方

おもしろ健康教育研究所、伊藤純子、高橋佐和子

連載

数式不要! はめ込み統計学 保健師のための統計これだけ 加藤丈夫

公衆衛生看護学の体系を事例で学ぶ 加藤京子、大神あゆみ、ほか

統括保健師の日々 高本佳代子

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●東日本大震災の後、石巻市でのボランティアで多くのお宅に伺いました。その際に壊れて止まった時計の指す時刻が2種類あることに気がきました。14:46と15:50頃。本震と最大波の時刻です。その間60分ですが、避難せず自宅に留まり津波に遭った方も多く伺いました。ハード面の防災機能が高められても、やはり最後の生死を分けるのは日頃の危機意識ではないかと思います。今回の特集でも、執筆の方々が、日頃からの体制づくりと連携の大切さを挙げられるように、職員の方の意識を日常業務や人材育成、訓練の中でどう高めるかが課題となるのかなと思いました。(長原)

●先日、高知市で開催された第78回日本公衆衛生学会総会取材しました。本誌の担当となつてから、毎年取材に伺っていますが、そのたびに本誌へ寄せていただいている信頼と期待を感じる機会があり、ありがたく思うとともに、気持ちが引き締まります。●2019年も最終号を迎え、あらためて本年のご愛読に感謝申し上げます。2020年の特集や新連載の準備も進んでいますが、引き続き現場に役立つ情報や気持ちが奮い立つような誌面をお届けできるよう、精一杯努めます。来年もご指導・ご鞭撻をいただきますよう、どうか、よろしくお願いいたします。(小林)

保健師ジャーナル 第75巻12号 2019年12月10日発行(毎月1回10日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019, Printed in Japan

印刷:株式会社アイワード

1部定価:本体1,500円+税

2019年間購読料(送料弊社負担) 冊子版:本体14,280円+税、電子版:本体14,280円+税、冊子+電子版:本体17,280円+税

販売・PR部:☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室:☎(03)3817-5774 hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当:小林、長原、伊藤

🐦 www.twitter.com/hokenshiJ 📘 www.facebook.com/hokenshiJ (「保健師ジャーナル」で検索)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

📄 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。